

# 品川支部

令和三年1月1日発行  
〒141-0022  
品川区東五反田1-8-5  
Tel 3442-7075

## 1月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

## 謹賀新年 今年も宜しくお願い致します



### 立教百八十四年



## ☆支部行事のお知らせ

・支部例会一月三十日（二頁参照）

例年、初例会は本荏大教会の開催で昼食でおせちをして頂いておりましたが今回は開催の場合弁当をお配りさせていただきます  
尚、コロナの状況により変更もあります

・教区ひのきしん ・神名流し

・在宅センターひのきしん・婦人会初例会

正月行事及びコロナ禍のため一月は共にありません、二月以降、様子を見ながら進めていきますので、支部報等又近くの教会でお確かめ下さい

## ☆教務支庁からのお知らせ

・天理市ふるさと納税（通称）

天理市では「ふるさと天理応援寄付金」の制度を始めました。寄付された金額から二千円を引いた額が所得税・住民税の対象になる額から控除されると共に、天理市からお礼の地場産品が送られます。ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス 天理市」で検索して下さい

・立教百八十四年春の学生おちば帰り

今年は団体毎のおちば帰りとオンラインによるイベントになります。  
「道の学生おちば帰り団参」「道の学生オンラインの集い」等で確認して下さい

### 立教184年支部例会へお誘い

品川支部では毎月会場を替え、月末に例会を開催しています。  
支部内の教会の方は勿論、特に自教会が遠く「おつとめ」の機会が少ない方の参加をお待ちしています。  
変更を含め毎月の会場は支部報に詳細が載りますので宜しくご参加下さい。  
座りづとめ・よろづよ・当月の下りのおつとめと当該教会長のお話で十一時から一時間、その後弁当の用意もあります

### 立教184年支部例会の予定

1月30日(土)	初例会	本荏大教会
2月28日(日)	例会	南泰分教会
3月30日(火)	例会	三ツ木分教会
(4月は全国ひのきしんデー等で例会は有りません)		
5月30日(日)	例会	鶴平分教会
6月30日(水)	例会	成東分教会
7月21日(水)	例会	日徳實分教会
8月30日(月)	例会	本品分教会
9月30日(木)	例会	櫻京分教会
10月30日(土)	総会	水豊田分教会
11月30日(火)	例会	本大崎分教会
12月21日(火)	納例会	日本橋大教会

拠点教会	元旦号	10/17日号	24日号	31日号
日本橋	配送済	直送	直送	手配り
本荏	配送済	直送	直送	手配り
都南	配送済	直送	直送	手配り
三ツ木	配送済	直送	直送	手配り
水豊田	配送済	直送	直送	手配り

時報手配り一月予定

丑年の今年は

豊英分教会



明けまして  
おめでとう御座います

コロナ禍で明け暮れた年も新しく丑年の幕開けとなりました。昨年は世界中の経験したことの無い災厄の年でしたが、是非今年はこの糧に年の終わりに素晴らしい年であったと言える年にしたい物です。

そこで今年の年回りからどのような年であるかを年初めとして思うところを書かさせて頂きます。

世間では干支は辛丑（かのとし）で、植物で言えば芽が出る前の種、人では母親の胎内に居る時期で、多少の苦労はあっても誠に急がず進めば、誕生という大きな成果にむけ確実に近づく年回りという事になるのだそうです。

# 品川支部例会

## 令和三年1月30日（土） 11時開始

### 場所 本荏大教会

（品川区大井2丁目5-17）

内容 おつとめ よろづよ八首 1下り目  
東京教区、支部連絡事項  
当該本荏大教会長 挨拶  
昼食の弁当を用意頂いてます

＊各教会の方のほかどなたでも（白足袋ハッピー着用）



お道で丑年を当てはめますと、方角は北北東となり十柱様では「くにとこたちさま」と「たいしよく天さま」半々という位置になります。水気うるをいのご守護を頂きながら、独り立ちをしていくことが出来る、又、悪いんねんを切っていただけという年と悟らせて頂く事が出来るのではと思います。もう少し砕いて申し上げれば、永く頭を悩ませていた煩わしいことや、病んでいたことから解放して頂けるご守護を頂ける良い年という事になります。

このご守護をあまねく頂くには先達の悟りを参考にすると、「くにとこたちさま」には「ほしい」、「たいしよく天さま」には「よく」がほこりとして充てられる事が多いようであります。この年をこのように良い年にするためには、このほこりを積まないよう又、払うような心がけて通る事が肝心という事と思えます。

しかしながらこの「ほしい」「よく」というものは、どこまでがほこりになる行いで、必要な向上心であるとか人の役に立つための物であるのかほこりとの境界を線引きすることが人間としては大変難しいところでもあります。それだけに神様はどう見て下さるか、教祖ならどうなさるかをという気持ちをも心において判断し行動することが大切なのだと思います。

又、大きくご守護を頂くには、相手に対しては二つ一つで天の理と教えて頂きますように相對する位置で補完関係の「をもたりさま」と「かしこねさま」のご守護も欠かせません。それぞれに充てられることが多い「をし」「にくい」というほこりの気持ちとを相手に対して払拭することが今年一年を豊かに、悪いんねんを納消し陽気に過ごしていくことが出来る道になるという事です。これを前述の世間の干支という習慣と重ねてみれば。

多少のつらさや痛みに負けず、このようなほこりを地道に払う事で、永く悩ましていたものをすっきりさせて頂ける年で、新しく何の心配のない事柄や生命を次に誕生させるための年であると云えるのでしよう。

世間では、まだまだしばらくはコロナ禍の影響は続き、会いたい人たちとも会えないような事や、お商売の上では本当に辛い時期を過ごされている方も大勢いらっしゃる事とは思いますが、そこから抜け出てこれから一番期待したい年でもあります。

この時こそ神様にもたれ人助けに心を向け希望をもつて新しい年を歩んでいきたいと思えます。皆様にとって今年が、神様のご守護をいっぱい頂けます良い年であります様。

支部長 栗原 薫

